

令和元年度第1回狭山市立図書館協議会会議録

- 開催日時 令和元年7月12日（金）
午前10時～午前11時
- 開催場所 中央図書館 視聴覚室
- 出席者 横田保太郎会長
伊藤真理子委員 今福裕美子委員
齋藤裕美委員 中島憲昭委員
指田良恵委員 五百旗頭洋子委員
佐伯哲雄委員
- 欠席者 阿久澤忠委員 長谷川明彦委員
- 事務局 向野教育長 滝嶋生涯学習部長
（中央図書館） 小池館長 加藤主幹 平沢主幹
（狭山台図書館） 吉田館長
（教育センター） 長尾指導主事
- 傍聴者 なし
- 協議事項 （1）平成30年度事業報告について
（2）令和元年度事業計画について

会議の経過

1. 開会
2. 辞令交付
3. あいさつ
4. 委員紹介・事務局紹介（図書館協議会概要紹介）

5. 会長・職務代理選任

会長に横田委員、職務代理に阿久澤委員が選出された。

6. 議事

(1) 平成30年度事業報告について

事務局 まず、図書館要覧の掲載内容の全体的な紹介を行った。

次に、30年度の実業報告について、資料に基づき説明を行った。

中央図書館からは、「リサイクルフェア」、「毎月の特集コーナー」、狭山市ゆかりの「吉野弘氏著作展示」、「育児学級」、「ちびぞうクラブ」など児童向け事業、また、「よむぞうタイムズ」「よむレンジャー」の発行、小中学校への出前事業・館内見学・調べ学習支援のための学校単位での貸出事業などについて説明した。

狭山台図書館からは、「ビブリオバトルスタートアップ講座」、「みんなで一緒に声に出して読む古典講座」、「アリスとティーパーティ」などについて説明した。

両館の共通事項として、利便性の向上などを目指した図書館システムの更新について説明した。

委員 リサイクルフェアについて。税金で買った図書なので、リサイクルに出したものの冊数あるいは金額はどのくらいか確認したい。また、そのうち何冊ぐらいが利用者に渡せたのか。

事務局 約1万7千冊の本を除籍した。何年か除籍作業が滞りがちだったので例年より多めの冊数となっている。そのうち何冊の本が利用者にわたったかの数値は把握していないが、7割くらい利用者に渡ったのではないかと感じている。

委員 学校連携協力事業の中で、学校への団体貸出があるが、市内の小中学校全校が支援を受けたのか。

事務局 すべての学校ではないが、図書館から学校へアンケートを行い、それに基づき支援要請のあったところにはすべて実施している。

(2) 令和元年度事業計画について

事務局 資料に基づき説明を行った。

中央図書館からは、第2次狭山市子ども読書活動推進計画について、事業推進主体である小学校その他それぞれで推進していくことを説明。

中央図書館の事業としては、ボランティアと連携しての毎月のお話会、保健センターと連携して年4回行う「ぱくぱくベビー」、子ども読書の日に合わせてイベント、でかぞうクラブ、特集コーナーや狭山市ゆかりの作家の本の展示、文芸狭山の発行、子ども映画会や文化祭、事業、中学生の社会体験学習の受け入れ、学校の事業に合わせた図書の出前講座の実施、レファレンスサービス事業の継続について説明した。

狭山台図書館からは、子ども限定のビブリオバトルを開催するための「はじめよう！ビブリオバトル」講座、「さやまだいまつり」では、クロスワードパズルを行うことで体育館との連携を図りたいと考えている、来館促進策として「ブックサロン」、「レファレンス掲示板」を企画していることを説明した。

委員 「さやまの100冊」のスタンプカードは図書館での事業か。

事務局 スタンプカードは図書館事業ではない。「さやまの100冊」に関しての図書館の事業は、常設コーナーの設置と、「さやまの100冊」ブックトークでの本の紹介を行っている。ブックトークに参加した子どもには強制ではないが、感想を書いてもらい、読書週間にその感想を掲示した。さらにさやまの100冊のうち中学年の25冊について、来館者にシールを使つてのランキングに協力していただいた。

委員 ビブリオバトルについて、小学生に限らず、その他の年齢層に向けて行っていく予定はあるのか。多くの年齢層に広げてほしい。本に関心を持つ人が増えることが期待できるのではないか。

事務局 毎月第4日曜日のビブリオバトルは年齢を限定していない。その参加者は大人が多い。県外（栃木県）からの見学者もいた。対象を広げるために、今回の試み（はじめようビブリオバトル）を行う。また、「さやまだいまつり」でもビブリオバトルを開催し、人目に触れる機会を作ろうとしている。ビブリオバトルスタートアップ講座は毎年行い、周知を図っている。

委員 さやまだいまつりでの参加人数は。

事務局 昨年度は振るわず、3人ほどだった。その前の年度は、ショーアップした形で行う試みを行った。

委員 職員が行う館内完結型の事業が多いようだが、本物に触れるという意味での外部講師を招く講座などは考えているのか。

事務局 報酬などの予算上の課題もあるので、ボランティア講師による外部講師を考えている。

会長 その他の意見・質疑は。

委員 意見として、ブックトークや職場体験の受け入れはこれからも積極的に行ってほしい。

委員 印象として、皆さんが真剣に話し合っていることを見て、自分でも勉強しようと感じた。

委員 開館時間について、場所や規模が限定される狭山台図書館よりも、規模の大きい中央図書館について夜間開館を増やすなどの対応をしてほしい。

事務局 ご要望・将来の課題として受け止めさせていただく。

委員 職場体験について、学校からではなく、図書館から学校に案内してほしい。

事務局 学校に職場体験の希望の有無をアンケートして要望のあったところ、その時点では回答がなくても後日要望があればできる限り対応させていただいている。

7. その他

- ・事務局から、よむぞうタイムズなどを配布させていただくので、後程ご覧いただきたいとの連絡。
- ・会長から、狭山の図書館だけでなく、ほかの図書館も見ると参考になるとの話があった。

8. 閉会